

<2022年9月21日発表>

「鉄道駅バリアフリー料金制度」を活用し、駅のバリアフリー設備の整備を推進します

- 西日本鉄道(株)は、鉄道駅におけるバリアフリー設備の整備を着実に推進するため、「鉄道駅バリアフリー料金制度(以下、本制度)」を活用した料金設定および整備等計画について、本日、国土交通省九州運輸局に届出を行いました。
- 本制度は、鉄道駅のバリアフリー化促進のために、お客さまに薄く広くご負担いただく制度として、2021年12月に国により創設されたものです。
- 当社では、これまで国および地方自治体のご協力のもと、国が定める移動等円滑化の促進に関する基本方針に基づき、駅施設のバリアフリー化に取り組んでまいりました。今後もお客さまがより安全、安心、快適にご利用いただけるよう、本制度を活用し西鉄福岡(天神)駅のホームドアの整備を実施するほか、旅客案内設備やバリアフリートイレの整備などの駅施設のバリアフリー化を着実に推進いたします。また、エレベーターやエスカレーター、車両のフリースペースなど、既設バリアフリー設備の改良や更新もあわせて推進してまいります。
- これらの整備を推進するため、この度、現行の普通旅客運賃に、鉄道駅バリアフリー料金として1乗車あたり10円を基本として加算します。また、通勤定期旅客運賃にも鉄道駅バリアフリー料金を加算いたします。鉄道駅バリアフリー料金の收受開始は2023年3月27日(月)を予定しております。
- 当社ではハード面の整備の推進に加え、ソフト面においても駅係員の接客向上やお困りのお客さまに対して積極的に声がけなどを行う「声かけ・サポート運動」の実施などを通し、年齢や障がいの有無に関わらず、全てのお客さまが西鉄電車を安全、安心、快適にご利用いただけるよう努めてまいります。

■鉄道駅における主なバリアフリー設備の整備状況と計画について

【主な整備内容】

設備	整備対象駅(※1)	整備状況	
		現状	2025年度末時点
ホームドア	西鉄福岡(天神)駅	未整備	整備完了
段差解消 (エレベーター等)	30駅(※2)	29駅	30駅
案内設備 (LCD案内表示器等)		6駅	22駅
内方線付点状ブロック		27駅	30駅
バリアフリートイレ		21駅	30駅

※ 整備計画は今後変更となる場合があります。

※1 移動等円滑化の促進に関する基本方針に基づく対象駅

ホームドアについては、1日あたりご利用者数10万人以上の駅。

それ以外については、1日あたりご利用者数3千人以上の駅、および自治体が定めるバリアフリー基本構想の生活関連施設に位置付けられた1日あたりご利用者数が2千人以上3千人未満の駅。

※2 桜並木駅開業(2023年度後半予定)以降は31駅

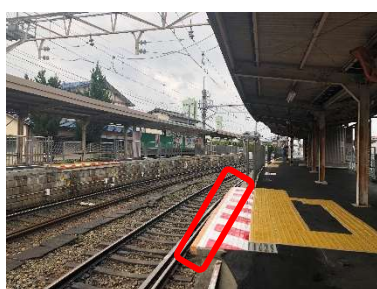
【整備方針】 ホームドアについて、2025年度末までに西鉄福岡(天神)駅の全乗降ホームへの設置を完了する予定です。また、LCD案内表示器を天神大牟田線2駅、貝塚線5駅に設置し、運行情報の提供強化を図るほか、触知案内図を天神大牟田線4駅、貝塚線2駅に設置いたします。さらに、西鉄福岡(天神)駅、久留米駅において列車とホームの段差や隙間の縮小に取り組みます。その他、バリアフリートイレの整備、内方線付点状ブロックおよび誘導ブロック、車両のフリースペースのバリアフリー基準適合化を進め、2025年度末までに移動等円滑化の促進に関する基本方針に基づく対象駅のバリアフリー化を着実に推進します。



ホームドア



バリアフリートイレ



楕状ゴム(隙間縮小)



車両のフリースペース

■「鉄道駅バリアフリー料金」の運賃への加算について

【概要】 現行の普通旅客運賃および通勤定期旅客運賃に鉄道駅バリアフリー料金を加算して収受し、同料金はバリアフリー設備の整備費等に充当するもの。

【設定額】

	普通券 (大人)	通勤定期券(大人)		
		1か月	3か月	6か月
設定額 (加算される額)	10円	370円	1,050円 または 1,060円	1,990円 または 2,000円

※通学定期券には料金を加算しません。

※通勤定期券については定期券の金額によって設定額が異なります。

※小児は、料金加算後の大人の半額(10円未満切り上げ)となります。

※料金の詳細につきましては、別途当社ホームページでお知らせいたします。

【収受開始日】 2023年3月27日(月)予定

【対象路線】 天神大牟田線(太宰府線、甘木線含む)、貝塚線

本件に関するお問い合わせは、西鉄お客さまセンター(Tel:0570-00-1010)まで

バリアフリー整備・徴収計画

鉄軌道事業者名	西日本鉄道株式会社
---------	-----------

整備方針	
2021～2025年度	<p>移動等円滑化の促進に関する基本方針に基づく対象駅のバリアフリー化を着実に推進する。</p> <p>(1)西鉄福岡(天神)駅のホームドア整備を完了させる。</p> <p>(2)バリアフリートイレ、案内設備の整備、基準適合化を推進する。</p>

料金額				
券種	定期外		定期券	
	普通券 (磁気券)	普通券 (IC)	通勤定期券	通学定期券
設定額 (円)	10	10	(※1)	0
年間徴収額 (百万円)	400 (※2)		194	0
料金徴収 対象駅	全駅			
備考	※1 1ヶ月：370円、3ヶ月：1,050円または1,060円、6ヶ月：1,990円または2,000円 ※2 上記券種のほか、回数乗車券、団体乗車券、貸切乗車券、企画乗車券を含む 鉄道駅バリアフリー料金を加算した運賃に関する詳細は、別途周知する。			

年間徴収額	594	百万円
徴収期間	3	年間 (2023.3～2026.3) ※2026年度以降も継続予定
総徴収額	1,782	百万円
総整備費	4,261	百万円 (2025年度までの計画) ※2026年度以降の継続について検討予定

バリアフリー整備・徴収計画（計画期間：2021.4～2026.3）

整備内容			
(1) 設置・改良費（附帯費用含む）			
設備名	整備数		整備費
ホームドア	1 駅	6 番線	1,259 百万円
エレベーター	1 駅	3 基	61 百万円
エスカレーター	1 駅	6 基	205 百万円
内方線付点状ブロック	2 駅	8 番線	220 百万円
段差隙間縮小に資する設備	2 駅	10 番線	448 百万円
バリアフリースイール	9 駅	10 ヶ所	57 百万円
車両のフリースペース	11 編成	22 両（※）	2 百万円
その他	28 駅		784 百万円
備考	その他：案内設備(LCD)、視覚障がい者用誘導ブロック、触知案内図、渡り板など ※ 既存車両のフリースペースの拡幅による基準適合化		
(2) 更新費（附帯費用含む）			
① 設備更新			
設備名	整備数		整備費
エレベーター	2 駅	3 基	120 百万円
エスカレーター	3 駅	6 基	180 百万円
その他	各 駅（※）		392 百万円
備考	その他：エスカレーター音声案内装置(バリアフリー基準適合化)、案内設備(LCD)、障がい者対応型券売機、内方線付点状ブロック、視覚障がい者用誘導ブロック、サインなど ※ 設備の状態に応じて順次更新予定		
② 車両更新			
路線名	整備数		整備費
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用（駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）			
維持管理費（附帯費用含む）	496		百万円
収受システム改修費	4		百万円
その他費用 （駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）	33		百万円
備考	駅務機器改修費：8百万円、駅頭表示改修費：25百万円 維持管理費：ホームドア、エレベーター、エスカレーター、案内設備などの補修・メンテナンス・保守点検・定期検査に係る費用 2026年度以降の本制度活用の継続について検討予定のため、本制度終了時に必要な収受システム改修費およびその他費用については、本様式には計上していない。		

※整備数：計画期間内に供用開始する設備の数

※整備費：計画期間内に整備する設備の費用

計画期間内の整備費（（1）～（3）の合計）	4,261	百万円
-----------------------	-------	-----

計画期間内の料金徴収によるホームドア設置番線数・段差解消駅数			
ホームドア設置番線数	6		番線
段差解消駅数	一経路確保駅	1	駅
	二経路以上確保駅	—	駅